

人

一 受信一四三〇〇 了 一七一五 〇〇四五〇 作・概

繁 急

三

三

警

昭和廿年四月五日



④ H-18 戦闘機報着信機所

⑤ 南西方面艦隊P・ダバオ第一航空基地

機密第二九一三〇〇番電 二分ノ二

(三) 西地區森大除布陣シ敵ハ二・三百位連日來襲スルモ常ニ退退セラ

ル水地區ハ有利ナル地勢ヲ占ム砲撃艦ニ依ル被害寡シ

(四) モロツク高原南方軍本部中隊第二小隊及第五中隊一舊第三中隊ヲ

之ニ合ス一作戰ニ從事中

二 昨日ノ戦闘

(一) 二十八日午後第一中隊前面ニ敵二箇中隊又甲助中隊ニ對シテモ相

當ノ兵力攻撃來リシガ直ニ之ヲ撃退セリ被害第一中隊負傷一名甲

獲四〇二 呂一 日ラ 八一五七一〇 KC 三二 半澤一福 田

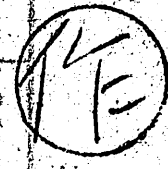
防中隊死傷二七名（砲撃ニ依ル）戦果調査中

（二）タソゴ山ハ昨夜一兵ヲモ殘サズ敵陣地ヲ中心ニ第一中隊ハ二十
七日・二十八日兩夜斬込陣ヲ出セシモ戦果ヲ得ズ。

（一）電信課註 本誌二分ノ一既配布

三二九 受信一七二七 開始二〇二〇七 譯了二三四〇 電一三九九九 作概〇

昭和十年三月廿日



東京通信隊。高雄警備府。聯合艦隊口。各艦
基隆在勤武官。アバリ、「ツゲガラオ」各航空基地

機密第一九一三一四番電 二分ノ一

南西方面艦隊參謀長

軍務局長 海上護衛總司令部 參謀長 大本營海軍參謀部第一部長

陸海軍現地部隊ヨリノ報告並ニ尙武ヨリノ通報ニ依レバ二十七日「ア

バリ」沖ニ五〇〇〇噸級陸軍病院船一隻入港セリト

右病院船ハ二十五日基隆發ノ豫定ナル準備スベキモ尙武ニ於テハ受信

狀況不良ノ爲現地部隊ヨリ報告アル迄承知シアラズ諸狀況ヨリ判斷ス

ルニ該病院船ハ任務ヲ完遂シ得ザリシモノト認ム爾今當方面向ケノ便

ハ陸海軍共ニ速ニ當司令部へ通報方取計ハレ度。

（電信誤註 七電二分ノ二未着）

通一五七五三 呂一〇ラ十八（一二八一〇） 廿一通五分遣

（松山）



三二九
三〇〇

受信一八五五
譯始〇八三〇

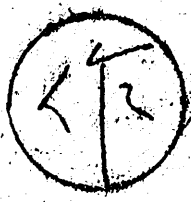
譯了二四一〇

電一四三七八

作概〇

昭和廿年 參月 卅 壹日

至急



東通・聯合艦隊口。各鎮。高警
基隆在勤武官。ツゲガラ才航空基地

機密第二九一三一四番電 二分ノ三

尙報告狀況左ノ類

一、オネバリ陸軍見張員約二十名舟艇揚搭施設人員ナシ南方約三〇軒

ニ海軍約七〇〇名アリ

三、バトリナ才陸海軍合計約五〇〇名大艘十四隻陸海軍合同全力ヲ舉

グ揚搭ス

三、サ白マゲ(ヒガン)北方陸海軍合計約二〇〇尙其ノ東方二〇軒山

中ニ約五〇〇アリ舟艇一隻ト内陸ノ交通不便ノ各地共海岸ニハ小

門一五八一五 片一〇ラ十八(一ニ八一〇) 三十一箱五分置 門奈(猪 行)

數人員ヲ配シ大部ハ後方ニ於ケル山間陣地ニ配備舟艇ハ分散秘匿
シアルニ付勘ク共入港三日前途ニ通報アリ度。

一電信課註 本電二分ノ一既配布一

人

此号

三二九

受信一八〇〇五

譯了一九〇〇

電〇四五九八

作動政〇

注意

8

作

● ●

三一通信隊五分遣隊

東京通信隊・吳通信隊・聯合艦隊口

機密第二九一五二三番電

二分ノ一

第三十二特別根據地隊

死 南西方面艦隊參謀長 第三南遣艦隊參謀長

通報 大本營海軍參謀部第一部長 聯合艦隊參謀長 吳人事部長

左記艦隊部隊ハ南一南遣艦隊附屬部隊ニシテ第二南遣艦隊司令長

官ニ指示セシメ速ニ線外 御取計相成度

一 第二艦長丸宮古丸若竹丸明代丸瑞鳳丸各中特別輸送隊附屬

通一五七四八

呂一Bラ一八(一五七一〇K)三二通(一)

藤井(油川)

昭和廿年四月九日



トシテ發令以來所在及行動不明且軍隊警備担任。

（東京 通証 本電料送要求中ナルモノニ應配布）

（電信 誅証 本電二分ノニ配布）

ト

三 二九 受信二二四二 譯了〇三四五 電一三九三九 作、概

三〇 譯始〇二四五



三二根戦闘概報着信艦所

二二二、二三三、二六根

機密第二九二一〇五番電

三二警備部隊戦闘概報第八四號（三月二十九日）

一ザンボアンガ方面三三警備隊所報通り

ニダバオ方面一三三〇ヨリ一三四四迄八一二四 一八機北東ヨリ侵入

ラサン飛行場西滑走路ニ投弾戦果被害ナシ。

通一五九三八 呂一ブラ一八（七八五五）三二通

未光（塩田）

昭和十年三月廿五日

昭和廿年三月廿五日

三三〇 受信〇二〇四 開始〇二五一 歸了〇七五九 電一四〇五九 作概

緊 急

● ダバオ第一航空基地

● 五基地航空部隊戦闘概報着信歸所



機密第二九二二〇六番電

戦闘概報 (三月二十九日)

一 零戦一機一七匹五「レイテ灣」偵察ノ爲發進セルモ「ミンダナオ

」海以北天候不良引返ス一八五五着陸ノ際脚折損(修理可能)

二 一三四五八一二四 一八機來襲「ラサン」飛行場ニ投彈滑走路被

彈七〇發修理ニ二週間ヲ要スル見込ニ當地爆撃ハ三月五日以來初

メテナリ

三 實動機 零戦二機彗星一機。

「東通註。本電誤字ノ爲遲延」

一六〇六一 呂ニロラ十八 (三八七) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (十一) (十二) (十三) (十四) (十五) (十六) (十七) (十八) (十九) (二十) (二十一) (二十二) (二十三) (二十四) (二十五) (二十六) (二十七) (二十八) (二十九) (三十) (三十一) (三十二) (三十三) (三十四) (三十五) (三十六) (三十七) (三十八) (三十九) (四十) (四十一) (四十二) (四十三) (四十四) (四十五) (四十六) (四十七) (四十八) (四十九) (五十) (五十一) (五十二) (五十三) (五十四) (五十五) (五十六) (五十七) (五十八) (五十九) (六十) (六十一) (六十二) (六十三) (六十四) (六十五) (六十六) (六十七) (六十八) (六十九) (七十) (七十一) (七十二) (七十三) (七十四) (七十五) (七十六) (七十七) (七十八) (七十九) (八十) (八十一) (八十二) (八十三) (八十四) (八十五) (八十六) (八十七) (八十八) (八十九) (九十) (九十一) (九十二) (九十三) (九十四) (九十五) (九十六) (九十七) (九十八) (九十九) (一百)

宮崎(松山)

32 Bp

ll

火

三三〇

受信一八二〇五
譯始一八二〇五

譯子一八二三
電一四三七九

作概〇

昭和廿年參月卅壹日

作戰特別緊急



三二根ボంగా才派遣隊

三三警・三二根P・三南遣艦隊P

ダバ才艦所通信系所屬練無線艦所

機密第三〇〇二〇〇番電

發。ボంగా才派遣隊長

決戰用意 〇一五〇。

通一六五一九才一〇(一五七一〇)KC(三三)通 望月(未)下

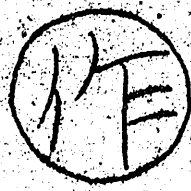
3319

50

三三〇〇 受信二二一三〇〇 三三〇〇 丁二三五〇 電〇〇〇七〇 昭和四年四月五日 概

作戰特別緊急

三三 警備隊



● 菲島部隊戰鬪概報着信艦所
● 南西方面艦隊P・タバオ一空基地

機密第三〇一五〇番電

三三警戰鬪概報第三六號（三月三十日）

三月二十九日東地區ニ於ケル戰況左記ノ通

一 全線ニ亘リ各陣地ヲ確保シツツアリ

二 第一中隊及甲防中隊ニ對シ熾烈ナル追撃砲彈ヲ打込ミ若干ノ被害アリ

三 バコ山ノ南東ナマコヒサニ數回來襲セルモ常ニ之ヲ擊退ス

四 左翼高地ハ二十日以後晝夜ノ砲撃ノ爲山谷ヲ改ムルニ至レリ其ノ南麓ニハ敵襲ニ備ヘテ斬込隊ヲ配ス。

一六六〇四 呂一八十八（七八五五KG）三二通 谷島（深見）

人

四 一 受信一七二〇九

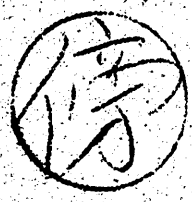
譯了一八五〇 電〇〇四五九

作 概〇

日中 四月五日

作戰緊急

三十三警



三十三警ホ口派遣隊・三十二根ボソガホ派遣隊
三十三根ラソコソ派遣隊

第三南遣艦隊P・三十三根P

機密第三〇一二三〇番電

各派遣隊ニ對スル敵ノ來攻ヲ思フニ戰備ヲ充分ニシ之ガ善處ニ違
算ナキヲ期スベシ主要點ヲ注意スレバ左ノ通り

一 敵ノ砲爆撃ニ依リ人員兵器ヲ損傷スルコトハ爾後ノ作戰ニ多大ノ
痛手トナル充分ノ厚サノ天ガイヲ有スル防空壕ヲ整ヘ總テ遮蔽式

ニスルコト

二 敵ノ戰車ニ對シテハ對戰車兵器ヲ以テスル肉迫攻撃ヲ行ワコト

三 六二二 於十一 七二〇 三十二 日高 谷

(H)

三、敵ノ歩兵ニ對シテ至近距離迄引付ケ一舉ニ之ヲ殲滅スルコト
四、重要ナル據點ハ斷乎死守スコト
五、糧食ノ貯藏給水準備通信ノ確保
六、四名乃至六名程度ノ斬込隊ヲ以テ連續出血ヲ圖ル。

三三〇 受信一四一七 譯了一五三〇 電一四三六六 作概〇

緊急



- 一三航空艦隊P・一一根P
- 三二通信隊・一航空艦隊P

機密第三〇一二三三番電

宛 G E P 参謀長

宛 南方軍總参謀長

在「夕バオ」航空兵力ヲ極力活用スルコトハ比島方面ノミナラズ全般作
 戦實施上緊要ト認ムル所當方ヨリ補給ノ目途ナキ現狀ニ付第三十二通信
 隊機密第二九〇九五三番電ノ件特ニ御配慮ヲ乞フ。

日一六三五八

日二〇ラ十八 (二八二一〇IC) 卅一通

河村(小六)

昭和廿年參月卅壹日

作戰緊急

四 一 受信一三五二 譯始一四〇〇〇 譯了二四三〇 電〇〇三七三 作 樹



第一航空艦隊P・三南遣艦隊P・タバオ第一航空基地

機密第三〇一五五〇番電

敵艦艇タリサイ沖驅逐艦及

一四三〇掃海艇一一輸送船一六

大型輸送船三小型

輸送船二其ノ他小舟艇二一リロアソニワデアム北口魚雷艇二
二(1)敵ハマボロラ上陸場ヲ排撃。

一 電信課註 二分ノ二既配布

通四三三 於一〇(一五七一〇KG)三二通 明比(杉本)

昭和四年四月貳日

33

三三〇 受信二二三〇 開始二二五一 譯了二三二七 電一四八一九 作 瀧

昭和廿年四月壹日

作戰緊急

三三 三三 根



第二ダバオ航空基地

三三根サンベルナルジ派遣隊・三南遣艦隊口・ダバオ第一航空基地

機密第三〇一五五〇番電 二分ノ二

現在飛行場方面戰車九人員二〇〇〇名程度二十八日迄ハ夜間引揚
ルチ例トセシモ二十九日本飛行場方面ニ哨戒線ヲ張りアリマホ口
附近夜間敵兵竝ニ戰車密集シアル算大ナリ飛行場ヲ觀測機一使用
中

三、天候曇雲高一五〇〇恢復シツツアリ。

四、野砲ノ位置軍司令官官舎三ゴルフ場

電信課註 本電二分ノ一未着

通一六六八一 於一〇(三三七八二・五五)

五五基地航空部隊放

心

作戰緊急

56 三一

受信一九三〇
譯始一九三一

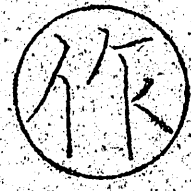
四一

了〇八〇一 電〇〇一七五

作

概〇 四月貳日

三三 警



● H-I-B 戰團概報着信艦所

● 南 西 方 面 艦 隊 尸

機密第三〇一七二〇番電

三三警戰團概報 第三七號 (三月二十日)

一、第二營、戒目下戰團ニ依リ甲防中隊ノ機砲捨置キナリシト戰況ニ即應セ
ンガ爲之ニ基キ第一中隊ノ一個小隊ト甲防中隊ノ二個中隊トヲ以テ森山
ヲ攻戰セラルル様中隊ノ殘餘兵力ヲ以テ「大マコ」山ヲ守備セシム

通一七一九三 呂一Bラー八(一五七一〇K)三三通 筒井(木下)(4)

一四〇〇頃敵戰車ハ「ダンゴ」山ニ艾步兵一二〇名ハ我最左翼ニ對シ
 攻勢ヲ來レリ所要ノ陣地ハ飽ク迄死守セントス
 三敵ノ兵力ハ森山ヨリ「ナマコ」ニ進出陣地ニ對シ一個大隊夫レヨリ我
 左翼ニ對シ一ヶ大隊増備ス。

(2)

人

三三三 受信始 〇〇四三〇五七 譯了 〇五三〇 電一四六六五 作 概

昭和廿年 參月 卅壹日

緊急

作

三二根 戰闘概報着信儘所

二二根 P・二三根 P・二六根

機密第三〇二一三〇番電 二分ノ一

三二五 戰闘概報第八五號 (三月三十日)

一、サンボアンガ方面三三警備隊所報通り

二、タバオ方面〇八三五―一四五〇B―二四 二機F四U―一 四視界

内通過

三、ボンカオ方面二十八日〇七三五―一七〇〇F四U―一 四機B―二

四、通信課ノ統爆部ヲ交ケ被害重傷一輕傷一。
通一六七九三 局一〇一十八 (七八五五K) 三二通 原(榮見)

1464

33

人

三三一 受信開始 〇〇一〇四五

譯了 〇四〇〇 電一四六一二 作概 〇

緊急

三三根

傍

三六營ハコロド派遣隊

機密第三〇二一四五番電

發 三六營備隊司令

宛 落相大尉

貴地在本隊員ハ傳ヘ皇國ノ爲分テ盡シ善戰死闘セヨ。

通一六七三三 天一Bラ十一(六四九〇K)カニガヤ 河村(木下)

昭和廿年 參月 卅壹日

下

三三三 受信二〇〇二 開始二一〇〇 丁二三二六 電〇〇〇〇四 作 概〇

緊急

三二通



三一通第七分遣隊

機密第三一〇九一一番電

發 三十二特根參謀

宛 第三南遣艦隊參謀

三三警ボソガ才派遣隊ノ報告ニ依レバ離集團サンガサンガ島殘留陸軍部隊ハ三月二十七日全部ボルネオニ轉進セリ同島陸軍殘置物件米約一五〇〇吨被服土工具若干ノ由ナル處右物件全部所在海軍部隊ニテ使用ノコトニ致度。

通一七二五三 呂一Bラ十八(七八五五K)三二通 小宮(海田)

昭和廿年四月廿日

人

四三 受信〇五一八 譯始〇八四〇
譯了 一〇一〇 電〇一七九三 作概

至急 三三特根

三南遣艦隊

〔通報表示〕 大海參一部、聯合艦隊口。一航空艦隊口

機密第三一一一三二番電 三分ノ一

宛 南西方面艦隊參謀長

貴機密第二三一一六四八番電關聯

三月二十八日現在

一、海軍總兵力准士官以上二〇六名下士官兵三四五二名軍屬一五

五〇名計五二〇八名

三陸戰隊編制

(一) 一大隊在箇中隊編制特別根據地隊、等三一潛水艦基地隊

一、二八六 三一〇一八 (四二〇) 五七〇 (機密)

昭和十四年四月四日

二五根 防空隊水上基地 魚雷調整班及假入隊員等ヲ以テ編制海

軍擔當區域北半ニ配備ス

(四) 二大隊六箇中隊編制中非空ヲ以テ海軍擔當區域南分工場（飛行場

裏山）ニ配備ス

(五) 施設 工作隊

(六) 補給隊

(七) 直率部隊高角砲隊豫備隊（水警隊最後方機銃員以外ノ防空隊）

（東通註 本電誤字極メテ多シ）

（電信課註 本電三分ノ二三未着）

局長	栗	四
山	山	一
山	山	受
山	山	始
山	山	信
山	山	一
山	山	七
山	山	七
山	山	二
山	山	八
山	山	一
山	山	譯
山	山	了

第五基地航空部隊戦闘情報着信場所

機密第三一二一五五番電

三A B 戦闘情報 (三月三十一日)

一 彗星一機一六三〇發進マラバル陸軍兵舎ヲ包圍セル敵機ヲ銃爆撃

セルモ戰果不明マラバル飛行場敵ハ使用ノ形跡ナシ

二 偵察機流星二機彗星一機

五〇六 呂二日ラ一八一五七一〇 (三二) 勝連 (福田)

電〇〇四九五作 概

才 第一 航空 基地

昭和廿年四月貳日

天
四

一 受信二三二七
二 譯始〇〇二二
三 譯了〇七三〇
四 電〇〇八九四
作 概

作戰緊急

三十三警備隊



○ 菲島部隊戰鬪概報着信盤所
○ 南西方面艦隊口。タバオ一航空基地

機密第三一二三三五番電 四分ノ一

三十三警備隊戰鬪概報第三八號 (三月三十一日)

一 三十日午後敵へ迫撃砲陣ノ跡ニ續テ 歩兵二箇中隊強ヲ以テナムエイ

山ニ攻撃シ來ルコト數回ニ及シガ海軍部隊 (主トシテ第一中隊) ハ其

ノ都度之ヲ還退敵ニ甚大ナル損害ヲ與ヘ敵ノ企圖ヲ破挫ス

二 同日夕刻敵約二〇〇ヘ前記同様巧妙ナル手段ヲ以テ小泉大隊ノ據レル

三八五メートル高地ヲ占領セルニヨリテ司令官ハ即刻奪取方特令トシ

モ遂ニ其ノ勢力減シ敵ガ迫撃砲及機銃陣地ヲ構築セシハ遺憾ニ堪ヘズ。

一 電信課註 本電四分ノ三三既配布四未着ノ

通七六一 呂一〇亂十八 (七八五五) 三十二通 補本 (酒卷)

四三 受信一〇〇二二 譯了 一六四〇 電〇一七八四 作 概

作戰緊急

菲島方面

部隊戰鬥概報着信鑑所

南西方面艦隊口・ダバオ第一航空基地

機密第三一二三三五番電

四分ノ四



基地司令官ハ中地 區及西地區兩部隊ヲシテ集結合流セシムル點ニ關シ苦
慮シツツテリ當地方ハ密迹幽谷ニシテ食糧ニ供セラルルモノナシ敵匪ヲ
討伐オベラ北方三〇軒ノ地點ニ到達セバ耕作地トナリ強執ナル戰鬥ニ堪テ
ルヲ以テテ場合ハ陸軍全兵力ノ集結ニ性アリ
尤斬込除ハ砲撃等ニ依リ戰果著シク劣レリ漸次研究改善ヲ加ヘ相當ノ實効ヲ
收メ萬全期シツツアリ。

(東通註 本電誤字極メテ多シ)

(電信課註 本電四分ソ一二三三既配布)

通一九九七 日一〇月十八 (一三三七一〇) (三二二) 田中(田中)

四月四日

昭和廿年四月四日

四二 受信二二四七〇 譯了二三五一 電〇一三七六 作 概

緊急

三三根



三三根戰鬪概報着信艦所

機密第〇一〇三三五番電 三分ノ一

三三特根戰鬪概報第一號 (四月一日)

一、艦船狀況岸壁横附中輸送船三昨夜點燈セリ内一ハ本日トラツクヲ湯
陸セリ敵ハセブ港ヲ本格的ニ使用シ始メタリ一八〇〇狀況セブ港岸
壁横附中ノモノモ大型二小型一セブ港兩口輸送船九小型一六小型
潛艇一一水上基地附近小型上陸用舟艇一七一タリサイ「沖驅潛艇二
向陸上方面本日目視シタル敵戰車六無蓋戰車二野砲九迫撃砲二前日
ヨリ陸海軍陣地。

一電信課註 本電三分ノ二ニ未着

通一五一九 呂一日 (七八五五四) 三二通 片山 (杉本)

1257

四 一受信一四五五 譯了七八二〇 電〇〇七二〇 作 概
緊急 譯始一五三〇

作

- 三二根戰鬥概報着信艦所
- 二二、二三、二六各根據地隊ト

機密第〇一〇九一一番電 二分ノ一

三二五 B 戰鬥概報第八六號 (三月三十一日)

一、ザンボアンガ方面三三警備隊所報道

ニ、ダバオ方面來襲機ナシ

三、ボンガオ方面三十日〇九〇〇一〇一三〇及一四〇〇一六四五

迄 B I 二四 三機 B I 二五 一二機 四 U I 一 六〇機來

襲道路兩側施設物及陣地ヲ銃爆擊機ニ二五耗單裝機銃及十三耗

機銃各二門破壊並ニ對空見張所破壊 人員異狀ナシ

通四一〇 呂一 B ラ十八 (一五七二〇 K) 三二通

末松 (原)

(1)

昭和廿年四月貳日

三十一日一〇一〇敵五二四六機來襲小型爆彈ニテ機銃陣地及道路上ヲ盲爆被害ナシ

二一〇〇敵中型機一機來襲施設部附近ヲ爆撃工員一名戦死

〔電信課註 本電二分ノ二未着〕

(2)

昭和廿年四月六日

四 五 受信一八七四五 譯了二一二〇 電〇〇三〇〇八七六 作概
緊急 三 五 警備隊

● 三南遣艦隊 南西方面艦隊 三一根

● 各人事部 高雄人事部

機密第〇一〇九五〇番電 二分ノ一二

四月一日現在當方面部隊左ノ通(部隊内務長准士官以上下士官兵軍屬)

レガスピール陣地

(1) 海軍

三三五警二〇・八三八・六

第八震洋隊三・〇

第三一警二・一九・〇

通 三三七五 呂一 日ラ十八 (一三五二〇・五KG) 坂本・末松(松井)

1474

四 第九輸送隊 〇・七・二

（一）三〇施設部 一・〇・二四三

（六）陸軍ヨリ派遣員 〇・八八

（七）航空隊派遣 〇・〇・一一六（警部ヲ含ム）

（四）陸軍

二六聯五木田大隊一〇五部隊第十分遣隊情報隊憲兵隊將校約一五名

兵約四〇〇

三 エンカマバード陣地

（イ）海軍

（一）菲島空（九五四空ブーラン基地員ヲ含ム）一一二・三六四・一

（二）三五警二・二・六〇〇・〇

（三）第八震洋隊三・九二・〇

（四）軍需部

（イ）人員施設部工員計二五六名

（ロ）陸軍合計一〇五名義勇隊合セテ將校二名兵四〇

三、兵器海軍ノミ

(イ) 十四糎砲八門野戰重砲二三門野戰高角砲二二門

(ロ) 速射砲七門彈二四〇發迫撃砲二一門

(ハ) 擲彈筒五〇

(ニ) 對空機銃 (陸戰轉換) 四九挺重輕機銃三四挺

(ホ) 小銃八三四挺 (兵員ノ約五割)

(ヘ) 手榴彈一五七〇 (兵員ノ約九割)

四、糧食七月迄

〔東通註 誤字ノ爲遲延〕

昭和廿年四月六日

下

1477

四二 受信〇三五二 譯了〇六三〇 電〇〇七二〇 作概〇
 譯始〇四三〇

作戰緊急

三五警備隊
 非島方面部隊（各尸）



機密第〇一一四五番

發 南西方面艦隊長官

敵攻略部隊「レカスピイ」沖ニ出現ノ徵候アリ「レカスピイ」方面所在海軍部隊ハ第三五警備隊司令統率ノ下陸軍部隊トノ連繫ヲ密ニ戦力ノ統合發揮ヲ期スルト共ニ積極果敢ナル敵撃滅ニ邁進ス

ベシ。

通九〇六 呂一Bラ一八（四五七二、五〇〇）高二放 門奈（機向）

昭和廿年四月貳日

七

人

四一 受信 一七二四 譯了 一七五四 電〇〇四四五 譯通

昭和十年四月貳日

緊急

高 通

第五航空艦隊口・海南警・基隆空・高警

大和田通信隊

機密 第〇一四五五番電

發 高雄通信隊司令

ルソン所屬攻撃機ハ一四〇〇基地宛花蓮港方面爆撃報告併セテ左記
味方發見報告ヲナセリ「北緯二四度一分 東經一二一度五〇分
區逐進二、傳馬船一〇乃至一二隻」更ニ該電ヲ天偵兼爆撃機系ニ於
テクラーク基地ヨリ一般宛轉送サレアルハ警戒ノ要アリ。

通五四一 於十三(一三五二〇〇)高雄 安(小野田)

昭和七年四月四日

四 三 二 一
譯始〇〇二〇〇〇 譯了〇一五〇 電〇〇一三三七五 作 概

緊急

三三根戰鬪概報着信艦所

機密第〇一二三三五番電 三分ノ三



砲撃我之ニ對シ迫撃砲機銃ヲ以テ應戰ス戰車一無蓋戰車二海軍側

陣地前端ニ侵入シ來レルモ撃退セリ B125 六機 P138 七機

三〇八二〇ヨリ一八〇〇迄 四U一九機 B124 二機 觀側機三機

延三七機來襲 B125 P138 ハ主トシテ陣地ヲ銃爆撃セリ

四 戰果後報被害 (三十日 三十一日) 戦死一〇機銃四使用不能

五 戰訓及參考事項

(イ) 斬込ニ對スル敵ノ射撃ハ首ニシテ伏セレバ安全ナリ

(ロ) 飛行場ヨリ二百米以内ニ近接スレバ必ず發砲ス

(ハ) 敵ノ後方ニ對スル警戒ハ極メテ手薄ナリ

通一五三四 呂一Bラ十八(七八五五) 三二通 大石(杉本)
通一五五七 池阪

人

四三 受信開始 〇〇二五〇 譯了 〇六〇〇 電 〇一四〇七 作 概 永廿年四月四日

緊急 五基地航空部隊戰報着信艦所



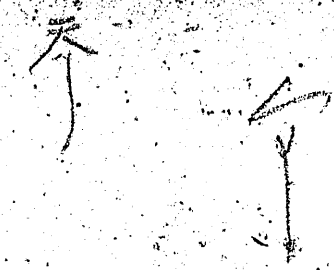
三三警備隊 機密第 〇二一一〇五番電

H三AB戰團概報 (四月二日其ノ一)

一 零戰ノレイテ灣偵察速報通
二 零戰一機 (新妻二等飛行兵曹) 〇四一〇發進 〇五三〇「サンボアンガ」
飛行場ヲ奇襲侵入前飛行場確認ノ爲旋回シタル所敵ハ味方ト誤認發光信
號「ロ」連送着陸燈全部ヲ點出シタルヲ以テ容易ニ飛行機置場ニ對シ六
番二機ヲ投下セリ爾後バリワサン河口新設ノ樁橋附近ヲ銃撃 〇六五五歸
着

三 飛行機炎上一ヲ認メタル外相當ノ戰果ヲ擧ゲタリト認ム第二擊以後防禦
砲火熾烈被害ナシ着陸時脚折損 (修理可能)。

通一六四〇 呂二Bラ十八 (四七四三五K) (五F〇B) 鈴木 (土谷)



作戦特別緊急

四二 受信一七四二 開始一七五九 了一九〇〇 電〇〇一一八七〇 作機〇

● ダバオ第一航空基地

● 三兩道艦隊P・一航空艦隊P・ダバオ第二航空基地

● 三三根

機密第〇二一一一五番電

二分ノ二

一〇九三〇敵艦船(計四七隻)「セブ」沿岸艦二機附中大型輸送船二隻 小型一隻 「セブ」港内浮潜艇二隻 「セブ」港河口附近輸送艇六隻 上陸用舟艇三隻 水上基地附近輸送艇一隻 浮潜艇七隻 海上トラツク一 上陸用舟艇一四 「タリサイ」小水上基地 地問題潜艇七

二、天候悪景五 雲高三〇〇〇

三、切込隊ノ報ニ依レバ「マブダ」「マングウエー」附近敵見當ラズ「セブ」岸壁使用中ト推定セラル。

通一四八八・一四〇九 於十(一五七一〇)C(三二)通 小野寺(玉谷



● 大海多一郎・聯合艦隊戸

● 三 三 根

機密第〇三一六五六番

種 〇 〇 司令官

在「セノ島」海軍部隊ガ中菲部隊指揮官統率ノ下陸軍部隊ト緊密ニ連
繫シ艦隊ヲ邀撃シ停戦敢闘シ大ニ戦果ヲ擧ゲツツアルハ満足ノ至ナリ
今後兵士氣ヲ振作シ協心勦力内防備ノ完璧ニ努ムルト共ニ戰果敢絶
エズ作戰目的ノ達成ヲ期シ帝國海軍ノ眞價ヲ發揚セシメトヲ望ム。

通一六〇五

呂一〇ラー八 (四七四三五) 五〇〇〇

長谷川 (金森)

昭和廿年四月四日

作

緊急

四三 受信〇八二二
譯始〇八五五
譯了二二二〇 電〇二六一七 作 概

五基地航空部隊戰國概報着信艦所

ダバオ一航空基地

機密第〇三二二一五四番電

B三A B戰國概報(四月二日其ノ二)

一レイテ偵察ノ零戦一機一七〇〇發進中繼基地「テルモンテ」ニ進

出明朝偵察實施ノ豫定

二〇八五〇一一九〇〇B一三四延三機偵察一五二〇小型機三通過

三「サランガニ」一基地一二三〇B一三四 一五機來襲滑走陥異狀ナ

目下ノトコロ陸軍守備隊彈藥缺乏該飛行場奪回ノ見込ナシ

五實動機零戰警星各一機

通一八三一 呂一〇ラ十八(一一三四七) 五機〇五〇g g 放